

令和元年6月25日配信

広報・広聴事業「ムラカミプレス」の取材開始について

市長自らが町に飛び出し、市民の声を直接お聞きし、その声に関する市長の見解を市民に行政放送で広報する「ムラカミプレス」が始まります。

市長が元新聞記者であったキャリアを活かし、市民の声を市政にスピーディーに活かすことを目的としたこの事業の第1回目の取材を下記のとおり行いますので、お知らせいたします。

<ムラカミプレス 第1回取材>

取材日 令和元年6月27日（木） 19:30 ~

テーマ 「部活動のいま。中学生スポーツの未来は。」

取材場所 嬉野市立塩田中学校 体育館



MURAKAMI
PRESS
ムラカミプレス

<お問い合わせ>

嬉野市役所 広報・広聴課

担当 中島 隆二（広報・広聴G）

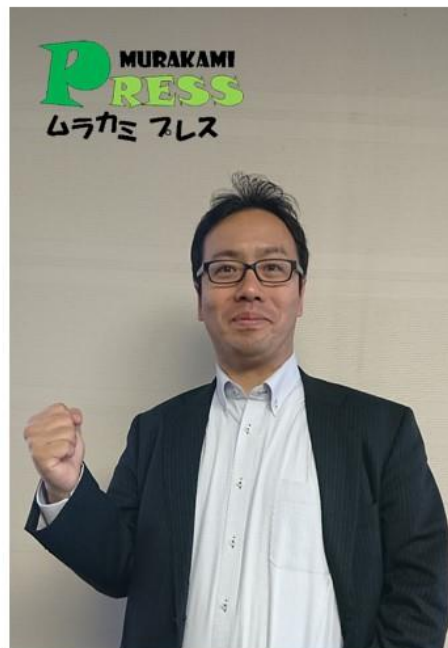
TEL 0954-66-9115

事業概要

これまでの広報・広聴事業とは趣向を変え、市の実施する事業や活躍している市民団体等を村上市長自らが取材し、参加者や市民団体からご意見をお聴きするとともに、そのご意見に関する市長の見解を市民に広報することにより、市政のスピードアップやより市民に近い施策づくりにつなげていく。



市長の前職が「新聞記者」である強みを活かし、プロの取材により市民のホンネを引出し、市民が本当に知りたい情報をタイムリーに届けていく。



メインキャスター

MURAKAMI
DAISUKE

嬉野市役所 総合戦略推進部 広報・広聴課

事業内容

市長が市の事業や各種団体の主催事業などに自ら参加する形で取材し、参加者と同じ目線でインタビューを行う。その模様は行政放送「ほっとステーション」の特集コーナーとして月1回程度放送し、その番組は、取材で得たご意見に市長が「ムラカミ記者」としての見解をコメントする形での放送とする。



市長自らがマスコミ目線と自治体の長の目をハイブリッドさせた視点で取材することで、市の取り組みをより掘り下げた行政情報発信とすることができる。また、市民のホンネを取材することで、新たな行政課題を浮き彫りにする効果も期待される。



嬉野市役所 総合戦略推進部 広報・広聴課